

大正大学社会福祉学会第44回大会

大会テーマ：安全で安心な社会共生の地域づくりに向けた福祉課題

公開シンポジウム：新型コロナウイルス禍と実習教育のあり方

新たな社会との良循環を志向するソーシャルワークの創造

—第44回大会シンポジウムをきっかけとした協働のお願い—

学内実習プログラムの意図

社会福祉士 新保 祐光

精神保健福祉士 坂本智代枝

新たな社会との良循環を志向するソーシャルワークの創造

——第44回大会シンポジウムをきっかけとした協働のお願い——

第44回大会のシンポジウムは、「新型コロナウイルス禍と実習教育のあり方」というタイトルでシンポジウムを実施させていただくこととなった。その趣旨は、今が社会、時代の転換点であるという認識を、学会員の皆様と共有し、「新たな社会と良循環できるようなソーシャルワーク、ソーシャルワーク教育をともにつくりたい」という、強いメッセージを送りたいためである。長文なので読むのが大変な場合は、骨格を図1としてまとめたので、そちらを参照されたい。

社会のICT（Information and Communication Technology）化は、少子高齢化による人口減少社会、サービスの多様化、効率化などの社会変動に合わせ、新型コロナウイルスの問題以前から始まっている。それは我々がフィールドとしている、医療・福祉の領域でも政策動向としても明確に出ている。それが今回の新型コロナウイルスの感染拡大によって急激に進んだ。

ICTは、情報とコミュニケーションのための技術であり、ソーシャルワークの中核である相談支

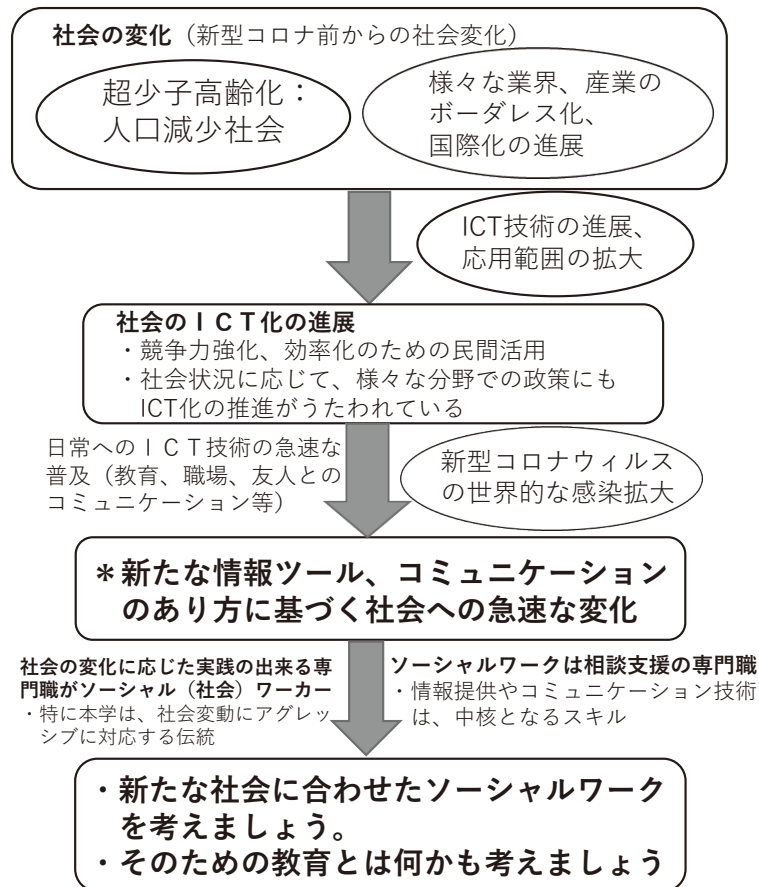


図1：今回のシンポジウムの意図

援の質を向上させる可能性はかなり高い。例を挙げれば、私は僧侶でもあるので、葬儀の際、可能な限り遺族に最期の様子を聞くようにしている。今年は「コロナのおかげで最後は故人と会えませんでした」という声をたくさん聞いた。人の最期という、尊厳に強くかかわる場面で何かすべきではないのか。そのための工夫をソーシャルワーカーは出来るのではないか。そのような時にICTをソーシャルワーカーが活用する可能性を強く感じるのである。

そこで今回の学会のシンポジウムのテーマ「新型コロナウイルス禍と実習教育のあり方」である。ソーシャルワーク実習は、現場に行き、直接様々な人とかかわることで学ぶことが中心である。そのため新型コロナウイルスの感染拡大により強いられる「ステイホーム」「ソーシャルディスタンス」「オンライン」という生活様式とは対極にある学びの形式であり、自ずと様々な限界が出てくる。

ただし限界があるからといって、今年はコロナだからしょうがないと妥協する訳にはいかない。質の高いソーシャルワーカーを育てるために行政機関に認可を受けており、それが社会に対するミッションだからである。鴨台社事通信に書かせていただいたが、社会変動に合わせてよりよい社会を志向するソーシャルワークの本質、それにアグレッシブにかかわる本学科の伝統を考えれば、いま、この状況において、大正大学社会福祉学科らしい、一歩踏み出した実習教育をつくっていききたいと思うのである。

教育が先か実践が先か、鶏か卵かの議論と一緒にあるので、実践家の皆様にはICTを活用したソーシャルワークをアグレッシブにご検討いただきたい。ただし今回のシンポジウムは、卵の方の実習教育に焦点を当てて、今後新たなソーシャルワークの創造を目指して議論をしたいのである。

今回のシンポジウムは、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、急遽おこなった学内実習を振り返り、ICTを活用したソーシャルワーク教育の可能性について議論するものである。この位置づけとしては、例えるなら新型コロナウイルスの拡大という、予期せずきた濁流に流されるなかで、必死にもがいている姿を確認することで、この濁流うまく逃れるだけでなく、さらには濁流や濁流による変化を活かしたよりよい環境をつくりましようということを意図したシンポジウムである。

シンポジストは、新型コロナ対策でそれぞれの現場でお忙しいなか、どう教育しようかと必死にもがいていただいた実習指導の先生達にお願いをした。一緒にもがいてくれた学生達にも、事前に簡単な調査をおこない、もがいているときの苦しさ、そのなかでの学びを示してもらっている。私自身もそうであるが、もがいている時は目の前のことしか見えず、もがいている意味、効果が十分に見えないことが多い。そのようななか、ご担当していただいた先生、学生の苦労をなんとか今後活かしたいのである。

学会員の皆さんには是非シンポジウムにご参加いただき、この濁流のなかでのもがきを、聞いたうえで俯瞰していただき、どうしたらこの濁流をうまく泳ぎ切れるか、そしてさらにこの濁流を活かして新たな環境を作れるかを、一緒に議論していきたいと思っている。

ただし、まだ新型コロナウイルスの感染拡大の影響のまったなかであり、今回のプロセスを全体的に意味あるまとまりとして振り返ることも、俯瞰することもできないかもしれない。ただし、今必死にもがいていることの検討からはじめ、今後も様々な議論を積み上げ、新たなソーシャルワーク、ソーシャルワーク教育をつくる第一歩とした。このことを大正大学社会福祉学の伝統を受け継ぐ学会員の皆様に、心からお願い申し上げます。

学内実習プログラムの意図（社会福祉士養成課程：180時間以上）

新保 祐光

1) 学内実習の対象

学内実習の対象は、学部3年生以上の63名である。ここまでソーシャルワーカーになるために、個別的な目標、計画を立て実習に臨むという経験はほとんどない。

2) 学内実習のプログラムを考えるうえでの前提

- ・感染症対策の観点から、すべてオンラインでおこなう。
- ・学生より可能な限り施設の実習指導者からの指導、助言をいただきたいという希望があった。そのためすべての内容について、実習指導者としての資格を持ち、かつ本学で実習教育に関わっている施設の実習指導者に担当してもらおう。
- ・時間的制約とマンパワーの問題から、学生の希望領域にかかわらず全学生のプログラムを一つとした。

3) 実習プログラムの意図

①導入（1日目、2日目）社会福祉士の視点と価値、ポジションの確認

はじめに今後の学内実習を進めるうえでの、学ぶための視点、考察、判断の指針となる根拠、基本的態度についての内容を導入としておこなった。社会福祉士の実習生としてのポジションを明確にするためである。

実際の実習では日常の社会福祉士の様々な活動を見るなかで、様々な人々との関わりから社会福祉士のポジションについて体験的に学ぶことが出来る。学内実習でもこのプロセスがないと、社会福祉士が何の影響も受けない場所で実践しているような錯覚に陥る可能性がある。また学生自身も実習施設に学生としてはいることを経験するなか

で、ポジションについて意識せざるを得ない。オンライン実習のため個々の部屋で受ける実習となったが、組織の一員としてのポジションを意識してもらおう意図がある。

②展開（3日目～23日目）各領域のプログラム

時間的、人的制約の問題もあったが、ジェネラリスト養成という意味もあり、学内実習プログラムは児童、高齢、障害の全領域を対象とした。また疾病による生活の変化という生活課題がはっきりしており、支援計画などもイメージしやすいことから、医療機関を最初に入れることとした。

具体的な内容は、ソーシャルワーク実習の指針（厚生労働省）を参考にし、3日間で6つの項目とした（次頁プログラム参照）。

一つの項目を240分とし、90分は施設の実習指導者によるZoomやストリームなどのオンラインツールをもちいたレクチャーやグループワーク、残りの150分で実習指導者から出された課題に対する調べ物と記録作成の個人作業とした。オンライン上の画面であっても、講師や参加しているほかの学生にたいして表情等による非言語コミュニケーションを意図的に取るようにした。作成された記録については、全て担当した実習指導者に見てもらい、評価もしてもらった。

③まとめ（24日目）地域を基盤とした実践

まとめとして各領域でおこなわれていた実践を、地域を基盤にすることで横串を差し、多様かつシームレスな支援につながる力の獲得を意図し豊島区の社会福祉協議会のCSWに、具体例をもちいて地域を基盤にした実践に関して指導していただいた。

○総日数及び総時間数：24日間かつ192時間以上

○1日2コマは実習指導者からの講義及び指導（オンライン）、実践現場において作成した学内実習用教材等を活用する

○具体的なスケジュールは以下のように展開する

日数	実施日時	プログラム	具体的な学習内容
1-1	9月8日(火)	共通基盤①	・ソーシャルワーク実習の目的
	13:00~17:00	対人援助職としての基本的態度	・価値観、社会福祉士としての倫理、基本的態度
1-2	9月9日(水)	共通基盤①	・ソーシャルワーク実習の目的
	9:00~13:00	対人援助職としての基本的態度	・価値観、社会福祉士としての倫理、基本的態度
2	9月15日(火)	共通基盤②	・サービス提供システムの中の施設
	9:00~18:00	対人援助を支える組織	・組織の中の専門職
3	9月26日(土)	医療機関①-1	・施設のある地域性と機関機能、メゾレベルの利用者像
	9:00~18:00	機関機能理解・事例(マイクロレベル)	・具体的な利用者像とソーシャルワーカーの仕事(事例)
4	9月29日(火)	医療機関①-2	・多職種連携、多機関連携
	9:00~18:00	メゾレベルの実践と当事者の権利擁護	・当事者組織の組織化や権利擁護活動
5	10月3日(土)	医療機関①-3	・個別支援計画(1日目の事例)
	9:00~18:00	個別支援計画・スーパービジョン	・スーパービジョン(振り返り・質疑応答等)
6	10月7日(水)	高齢領域①-1	・施設のある地域性と機関機能、メゾレベルの利用者像
	9:00~18:00	機関機能理解・事例(マイクロレベル)	・具体的な利用者像とソーシャルワーカーの仕事(事例)
7	10月8日(木)	高齢領域①-2	・多職種連携、多機関連携
	9:00~18:00	メゾレベルの実践と当事者の権利擁護	・当事者組織の組織化や権利擁護活動
8	10月10日(土)	高齢領域①-3	・個別支援計画(1日目の事例)
	9:00~18:00	個別支援計画・スーパービジョン	・スーパービジョン(振り返り・質疑応答等)
9	10月15日(木)	高齢領域②-1	・施設のある地域性と機関機能、メゾレベルの利用者像
	9:00~18:00	機関機能理解・事例(マイクロレベル)	・具体的な利用者像とソーシャルワーカーの仕事(事例)
10	10月16日(金)	高齢領域②-2	・多職種連携、多機関連携
	9:00~18:00	メゾレベルの実践と当事者の権利擁護	・当事者組織の組織化や権利擁護活動
11	10月23日(金)	高齢領域②-3	・個別支援計画(1日目の事例)
	9:00~18:00	個別支援計画・スーパービジョン	・スーパービジョン(振り返り・質疑応答等)
12	10月28日(水)	障害領域①-1	・施設のある地域性と機関機能、メゾレベルの利用者像
	9:00~18:00	機関機能理解・事例(マイクロレベル)	・具体的な利用者像とソーシャルワーカーの仕事(事例)
13	11月6日(金)	障害領域①-2	・多職種連携、多機関連携
	9:00~18:00	メゾレベルの実践と当事者の権利擁護	・当事者組織の組織化や権利擁護活動
14	11月12日(木)	障害領域①-3	・個別支援計画(1日目の事例)
	9:00~18:00	個別支援計画・スーパービジョン	・スーパービジョン(振り返り・質疑応答等)
15	11月14日(土)	障害領域②-1	・施設のある地域性と機関機能、メゾレベルの利用者像
	9:00~18:00	機関機能理解・事例(マイクロレベル)	・具体的な利用者像とソーシャルワーカーの仕事(事例)
16	11月17日(火)	障害領域②-2	・多職種連携、多機関連携
	9:00~18:00	メゾレベルの実践と当事者の権利擁護	・当事者組織の組織化や権利擁護活動
17	11月23日(月)	障害領域②-3	・個別支援計画(1日目の事例)
	9:00~18:00	個別支援計画・スーパービジョン	・スーパービジョン(振り返り・質疑応答等)
18	11月27日(金)	児童領域①-1	・施設のある地域性と機関機能、メゾレベルの利用者像
	9:00~18:00	機関機能理解・事例(マイクロレベル)	・具体的な利用者像とソーシャルワーカーの仕事(事例)
19	12月2日(水)	児童領域①-2	・多職種連携、多機関連携
	9:00~18:00	メゾレベルの実践と当事者の権利擁護	・当事者組織の組織化や権利擁護活動
20	12月5日(土)	児童領域①-3	・個別支援計画(1日目の事例)
	9:00~18:00	個別支援計画・スーパービジョン	・スーパービジョン(振り返り・質疑応答等)
21	12月7日(月)	児童領域②-1	・施設のある地域性と機関機能、メゾレベルの利用者像
	9:00~18:00	機関機能理解・事例(マイクロレベル)	・具体的な利用者像とソーシャルワーカーの仕事(事例)
22	12月8日(火)	児童領域②-2	・多職種連携、多機関連携
	9:00~18:00	メゾレベルの実践と当事者の権利擁護	・当事者組織の組織化や権利擁護活動
23	12月14日(月)	児童領域②-3	・個別支援計画(1日目の事例)
	9:00~18:00	個別支援計画・スーパービジョン	・スーパービジョン(振り返り・質疑応答等)
24	12月19日(土)	地域包括支援	・地域を基盤とした支援
	9:00~18:00		・多様な対象を包含した横軸の支援

学内実習プログラムの意図（精神保健福祉士養成課程：210時間以上）

坂本智代枝

1) 学内実習の対象

本学の精神保健福祉士養成課程は、3年次のソーシャルワーク実習を履修してからのアドバンス実習として位置付けている。今年度の精神保健福祉士養成課程の学生は9名である。3年次のソーシャルワーク実習を踏まえ、3年次の秋学期では実習先の配属を行い、それに基づいて障害福祉サービス事業所と精神科病院に見学実習をして実習計画書を作成している。

2) 学内実習プログラムのねらいと構成

今年度は、感染症予防のため実習の全日程をオンラインで実施した。そこで、大きな課題は、キャリアイメージ、現場感覚をつかむことが困難であることと、学生の主体的な学修をどのように保証するかということであった。そこで、司会進行は学生が交代で担うこと、講師への質問や討議の時間、少人数のグループ討議とロールプレイ、事例検討を多く取り入れ、できるだけ学生が主体的に取り組めるように工夫した。

実習プログラムの構成は、精神保健福祉援助実習の教育指針（厚生労働省）に基づき、日本精神保健福祉士協会の業務指針第2版と第3版（2020年12月より第3版が公表された）の地域分野と医療分野の項目を網羅するように展開した。（次頁プログラム参照）卒業生を多く含む実習先の実習指導者の資格を持っている現場の精神保健福祉士と当事者や家族の方々も講師に依頼して取り組んだ。地域実習は13日間、病院実習15日間、計25名の講師に業務指針に沿って実践現場でのソーシャルワーク業務とそこで基盤となる考え方について、事例に基づいてパワーポイント等の資料作成を依頼した。

3) 学内実習プログラムの展開

学内実習は、8:50にTeamsに入り学生が司会進行を行う。前回の実習の振り返りを一人ずつ発表し、業務指針の解説の後当日の実習目標を検討し、実習目標を各々発表する。

10:00からZOOMで学生が司会を進行し、自己紹介と本日の実習目標を発表し、その内容も含めて、講師が講義と演習を行った。午後から講師の作成した事例やビネットをもとに事例検討やロールプレイをグループで実施して、そこで気づいたことを全体で発表し、講師にコメントをもらった。16:00から記録作成の時間として、17:00に終了した。実習記録は担当日の実習講師に送付して、コメントを依頼した。

①地域実習

障害福祉サービス事業所における精神保健福祉士の役割を基本にして、地域生活支援における相談支援、働くことへの支援、居住支援、家族の体験と家族会の機能、アウトリーチ支援、地域移行・地域定着支援、当事者との協働、社会資源の開発とソーシャルアクション等、業務指針の項目に沿って、プログラムを組み立てた。

②病院実習

精神科医療機関の機能理解と精神保健福祉士の役割を基本として、入院時の患者及びその家族への相談援助、治療中の患者家族の支援、退院支援・地域移行支援、病院内のチームアプローチ、多職種・関係機関との連携、アルコール依存症の治療プログラム、デイケアなどのグループ支援、訪問看護、退院支援計画の作成等業務指針の項目に沿って、プログラムを組み立てた。

① 地 域 実 習				
日数	実施日時	プログラム	具体的な学習内容	時間数
1	9月7日(月)	実習オリエンテーション	・障害福祉サービス事業所における精神保健福祉士の役割について	4
	13:00~17:00			
2	9月12日(土)	地域生活における相談支援	・相談支援事業所と計画相談等を学ぶ	4
	9:00~17:00		・ロールプレイ、グループスーパービジョン	4
3	9月14日(月)	家族の体験と家族会の機能と役割	・事例演習	4
	9:00~17:00		・スーパービジョン	4
4	9月17日(木)	働くことへの支援	・就労支援計画の作成を学ぶ	4
	9:00~17:00		・ロールプレイ、スーパービジョン	4
5	9月28日(月)	居住支援	・居住支援を学ぶ	4
	9:00~17:00		・ロールプレイ、スーパービジョン	4
6	10月3日(土)	東京都の自殺予防プログラムに参加	・ロールプレイ、スーパービジョン	4
	13:00~17:00			
7	10月5日(月)	アウトリーチ・訪問活動	・事例検討	4
	9:00~17:00		・スーパービジョン	4
8	10月8日(木)	地域ネットワークの形成とまちづくり	・地域ネットワークの基盤形成について学ぶ	4
	9:00~17:00		・ロールプレイ、スーパービジョン	4
9	10月12日(月)	当事者との協働	・ピアサポーターによる講義	4
	9:00~17:00		・ロールプレイ、スーパービジョン	4
10	10月17日(土)	医療機関との連携	・事例演習	4
	9:00~17:00		・スーパービジョン	4
11	10月19日(月)	地域移行・地域定着にかかわる支援	・地域移行、地域定着型支援を学ぶ	4
	9:00~17:00		・ロールプレイ、スーパービジョン	4
12	10月21日(水)	居場所の支援	・事例演習	4
	9:00~17:00		・スーパービジョン	4
13	10月22日(木)	社会資源の開発とソーシャルアクション	・事例演習	4
	9:00~17:00		・ロールプレイ、スーパービジョン	4
合 計				104

② 病 院 実 習

日数	実施日時	プログラム	具体的な学習方法・内容	時間数
1	10月26日(月)	実習オリエンテーション	・精神科医療機関の機能理解と精神保健福祉士の役割	4
	9:00~17:00		・精神保健福祉士の価値と倫理	4
2	10月29日(木)	入院時の患者及びその家族への相談援助	・概要説明、事例演習、ロールプレイ	4
	9:00~17:00		・スーパービジョン	4
3	11月2日(月)	当事者から学ぶ	・概要説明、事例演習、ロールプレイ	4
	9:00~17:00		・スーパービジョン	4
4	11月5日(木)	治療中の患者家族への支援	・概要説明、事例演習、ロールプレイ	4
	9:00~17:00		・スーパービジョン	4
5	11月9日(月)	退院支援・地域移行支援	・概要説明、事例演習、ロールプレイ	4
	9:00~17:00		・スーパービジョン	4
6	11月12日(木)	病院内のチームアプローチ	・多職種機能と役割の理解	4
	9:00~17:00		・事例演習、ロールプレイ、スーパービジョン	4
7	11月14日(土)	アルコール依存症の治療プログラム	・医療機関における支援、精神保健福祉士の役割、事例演習、ロールプレイ、スーパービジョン	4
	9:00~17:00	デイケアにおける精神保健福祉士の役割	・医療機関における支援、精神保健福祉士の役割、事例演習、ロールプレイ、スーパービジョン	4
8	11月16日(月)	多職種・関係機関との連携	・地域事業所、多機関との連携について	4
	9:00~17:00		・事例演習、ロールプレイ、スーパービジョン	4
9	11月20日(金)	訪問看護における精神保健福祉士の役割	・医療機関における支援、精神保健福祉士の役割	4
	9:00~17:00		・事例演習、ロールプレイ、スーパービジョン	4
10	11月21日(土)	退院支援計画作成	・概要説明、事例演習、ロールプレイ	4
	9:00~17:00		・スーパービジョン	4
11	11月26日(木)	ひきこもりのある人の支援	・ひきこもり当事者と活動の支援 講義と演習	4
	9:00~17:00		・スーパービジョン、振り返り(まとめ)	4
12	11月30日(月)	アルコール依存症の回復者とその支援	・事例演習、ロールプレイ	4
	9:00~17:00		・スーパービジョン、振り返り(まとめ)	4
13	12月3日(木)	リワークプログラムにおける精神保健福祉士の役割	・医療機関における支援、精神保健福祉士の役割	4
	9:00~17:00		・事例演習、ロールプレイ、スーパービジョン	4
14	12月10日(木)	地域ネットワークの形成	・地域連携室の役割、事例演習、ロールプレイ	4
	9:00~17:00		・スーパービジョン、実習の振り返り	4
15	12月19日(土)	社会的入院者の地域移行支援における精神保健福祉士の役割	・医療機関における支援、精神保健福祉士の役割	4
	9:00~17:00		・事例演習、ロールプレイ、スーパービジョン	4
合 計				120